

令和5年度 学校教育自己診断より

1 回収率

生徒 91.9% (57/62) 回収 保護者 72.5% (45/62) 回収 教員 92.1% (58/63) 回収

2 満足度 () は R3・R2

生徒 83.8% (81%・80%) 保護者 93.1% (93%・93%) 教員 89.1% (87%・85%)

調査はA「そう思う」・B「どちらかといえばそう思う」・C「あまりあてはまらない」・D「まったくあてはまらない」から選択する方法で行い、AまたはBを選択した割合(%)を「満足度」として分析した。

【生徒回答より】

- ・「先生は私たちのことを大切に考えている。」が13%増、「担任の先生以外にも気軽に相談することができる先生がいる。」が11%増。
→担任や授業担当の先生から、より一層生徒に寄り添った指導や相談を行った。また、リスペクトアザースについての講話など、他人との関わり方やコミュニケーションの大切さなどを特に力を入れてきたことなどが、理由として考えられる。
- ・「他校との交流や共同学習は意義があり、内容に満足している。」が11%増、「部活動は活発であり、学校生活を充実させるものになっている。」が12%増。
→新型コロナウイルスが5月に5類に移行したことも受け、昨年度以上に行事や課外活動が活発に行えたためと考えられる。

【保護者回答】より

- ・「子どもは学校に行くのを楽しみにしている。」が9%増、「子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている。」が15%増。
→上記の新型コロナウイルスの5類移行のほか、VR/ARを活用した新しい取組など、昨年度以上に学校生活が充実してきたためと考えられる。
- ・「学校は、保護者の要望や意見を尊重し、教育活動に取り組んでいる。」が9%減、「学校は、補聴器（人工内耳を含む）や聴力測定についての相談をていねいに行っている。」が14%減。
→保護者と教員間の相談や説明が不十分であったり、いただいた要望やご意見を十分に教育活動に反映できなかったことがみられる。原因を探り、改善につとめていきたい。

【教職員回答より】

- ・「学校は、生徒の学ぶ意欲の喚起をめざして、授業や学校生活におけるVR/ARの活用方法を研究している。」が10%減。
→今年度から機器等を各教科に配付し、全校的な取組として本格的に実践してきた。結果として、活用事例は以前以上に多く挙げたが、授業や行事で実際に活用しての難しさも顕在化したと思われる。
- ・「学校は教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。」が11%増。
→本項目のとおり、意識的に教職員で教育相談の充実を図った結果が、【生徒回答】の担任の先生以外に相談できるという項目に肯定的であった結果に示されたと考えられる。

		A	B	C	D	有効回答数	満足度	R4	R3	R2	R4と比較
1	・学校に行くのが楽しい。	16	29	7	4	56	80.4%	77%	65%	65%	4%
2	・先生は私たちのことを大切に考えている。	30	24	3	0	57	94.7%	82%	85%	85%	13%
3	・学校生活に関するルール(遅刻、服装、頭髮、身だしなみ、下校時間など)やその指導は適切である。	26	25	3	3	57	89.5%	88%	90%	78%	2%
4	・将来の進路や生き方について考える機会がある。	24	27	3	1	55	92.7%	86%	85%	78%	7%
5	・学校は、希望する進路についていねいに指導している。	25	28	2	0	55	96.4%	91%	88%	80%	5%
6	・学校は、進路に関する必要な情報(大学、企業等)を十分に提供している。	23	26	6	1	56	87.5%	84%	80%	75%	4%
7	・担任は、職業適性検査やクレペリン作業検査の結果について十分に説明している。	26	22	6	1	55	87.3%	87%	84%	85%	0%
8	・進学や就職などの目標を持って、毎日の学習に取り組んでいる。	23	22	7	5	57	78.9%	80%	73%	73%	-1%
9	・資格取得に積極的にチャレンジしている。	25	20	7	4	56	80.4%	77%	73%	67%	4%
10	・先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応している。	30	19	4	1	54	90.7%	85%	82%	69%	5%
11	・担任の先生以外にも気軽に相談することができる先生がいる。	28	19	6	3	56	83.9%	73%	79%	67%	11%
12	・命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	25	27	3	1	56	92.9%	87%	88%	84%	6%
13	・学校行事は生徒が積極的に参加できるように工夫されている。	29	23	3	2	57	91.2%	87%	83%	82%	4%
14	・文化祭・体育祭・教育旅行などの行事は楽しく行えるように工夫されている。	30	21	5	1	57	89.5%	89%	87%	76%	0%
15	・他校との交流や共同学習は意義があり、内容に満足している。	20	27	9	1	57	82.5%	71%	75%	69%	11%
16	・学校は私たちの障がいについてよく理解している。	35	17	4	0	56	92.9%	91%	96%	89%	2%
17	・先生は、聴覚障がいや生徒のコミュニケーション方法についてよく理解している。	31	21	4	0	56	92.9%	86%	94%	93%	7%
18	・授業の内容が分かりやすい。	22	31	4	0	57	93.0%	93%	88%	87%	0%
19	・先生は、授業でICT機器(iPad・ディスプレイ・電子黒板など)を使うなど、教え方に工夫をしている。	30	25	2	0	57	96.5%	100%	92%	91%	-4%
20	・学校では、授業や学校行事において、VRやAR活用に取り組んでいる。	18	28	5	4	55	83.6%	79%	R4新		5%
21	・学習の成績は、試験の点数だけでなく、生徒の努力や授業に取り組む姿勢等を含めてつけられている。	30	23	3	0	56	94.6%	95%	94%	89%	0%
22	・担任は、個別の教育支援計画の内容についていねいに説明している。	26	24	4	1	55	90.9%	91%	86%	80%	0%
23	・部活動は活発であり、学校生活を充実させるものになっている。	22	23	8	1	54	83.3%	71%	73%	72%	12%
24	・学校の生徒自治会活動に関心を持って参加している。	16	20	11	8	55	65.5%	61%	60%	65%	5%
25	・学校は、補聴器(人工内耳も含む)や聴力測定についての相談をていねいに行っている。	25	23	5	2	55	87.3%	96%	92%	83%	-9%
26	・学校で地震や火災などの災害が起こった場合、どのように行動すればよいか具体的に知らされている。	29	21	5	1	56	89.3%	96%	90%	89%	-7%
27	・教室や廊下などの清掃が行き届いている。	28	20	8	1	57	84.2%	95%	83%	76%	-10%
28	・教室、特別教室、実習室等の施設・設備は授業や学校生活がしやすいように整備されている。	29	23	4	0	56	92.9%	96%	94%	85%	-4%
29	・学校の図書室は、読みたい本が充実している。	21	13	15	7	56	60.7%	61%	60%	54%	0%
30	・図書室(本の貸出・調べ物・補習・自学自習など)をよく利用している。	12	14	13	17	56	46.4%	41%	40%	37%	5%
31	・宿題のほか、家庭での学習に積極的に取り組んでいる。	14	21	9	12	56	62.5%	59%	59%	61%	4%
32	・朝ドリルは文章力の向上に役立っている。	9	15	13	15	52	46.2%	47%	59%	53.7%	-1%
							83.8%	81.3%	79.9%	75.4%	2%

		A	B	C	D	有効回答数	満足度	R4	R3	R2	R4と比較
1	・子どもは学校に行くのを楽しみにしている。	18	18	6	2	45	82.2%	73%	79%	78%	10%
2	・学校は、保護者の要望や意見を尊重し、教育活動に取り組んでいる。	17	23	4	0	45	91.1%	100%	98%	92%	-9%
3	・子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている。	8	28	6	1	44	84.1%	69%	82%	79%	15%
4	・教員は、授業でICT機器（iPad・ディスプレイ・電子黒板等）を活用するなど教え方に工夫をし、わかりやすい授業を行っている。	22	21	1	0	45	97.8%	100%	100%	92%	-2%
5	・学習の評価は、テストの得点だけでなく、いろいろな面から学習の評価が行われている。	23	19	1	0	44	97.7%	100%	100%	90%	-2%
6	・学校の生徒指導（遅刻、服装、頭髪、身だしなみ、手洗い、食事マナー、下校指導等）は適切である。	18	25	0	0	44	100.0%	95%	92%	88%	5%
7	・学校は将来の進路や職業などについて、適切な指導を行っている。	18	22	2	0	43	95.3%	98%	96%	94%	-2%
8	・担任は、職業適性検査やクレペリン作業検査の結果について十分に説明している。	21	18	2	1	43	93.0%	86%	92%	98%	7%
9	・勤労観や職業観の育成をはじめ、進路指導（先輩の体験を聞く会、進路説明会、職場見学、職場体験、デュアルシステム、進路相談等）は適切である。	22	19	1	0	43	97.7%	100%	96%	96%	-2%
10	・学校は、生徒の自己実現に向けて積極的に資格取得にチャレンジするように指導している。	22	19	2	0	44	95.5%	97%	94%	98%	-2%
11	・学校は、進路に関する必要な情報（大学、企業等）を十分に提供し、説明している。	13	23	3	1	41	90.2%	92%	90%	88%	-2%
12	・学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	16	21	2	1	41	92.7%	92%	94%	89%	1%
13	・学校は子どもに生命を大切にすることや社会ルールを守る態度を養おうとしている。	14	26	2	0	43	95.3%	92%	98%	98%	3%
14	・学校は、教育情報について、提供の努力をしている。	9	29	3	0	42	92.9%	95%	92%	94%	-2%
15	・学校は保護者に出す文書・事務連絡等は、適切（時期、情報量、情報内容等）である。	20	23	1	0	45	97.8%	95%	96%	86%	3%
16	・この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	14	23	6	1	45	82.2%	85%	67%	90%	-3%
17	・学校は、PTA活動に積極的に取り組んでいる。	13	25	3	1	43	90.7%	86%	84%	88%	5%
18	・学校は子どもの障がいについてよく理解している。	22	19	2	0	44	95.5%	95%	98%	90%	0%
19	・学校は、日常の教育活動において、子どもの人権を十分に尊重している。	17	22	2	0	42	95.2%	95%	96%	94%	0%
20	・学校は、補聴器（人工内耳を含む）や聴力測定についての相談をていねいに行っている。	16	21	6	0	44	86.4%	100%	96%	84%	-14%
21	・教員は、生徒一人ひとりの聞こえやコミュニケーション状況に応じた指導を行っている。	19	21	4	0	45	91.1%	93%	98%	92%	-1%
22	・教員は、保護者からの相談にていねいに対応している。	25	18	0	0	44	100.0%	97%	100%	96%	3%
23	・担任は、保護者懇談のときに個別の教育支援計画について十分に説明し、意見を聞いている。	27	15	1	1	45	95.6%	95%	98%	98%	1%
24	・個別の教育支援計画に記載されている内容（指導目標、指導方法、指導内容、評価等）が日々の教育指導に反映されている。	21	22	0	1	45	97.8%	97%	100%	94%	0%
25	・部活動は活発であり、子どもにとって学校生活を充実させるものになっている。	13	17	6	1	38	81.6%	84%	75%	88%	-2%
26	・文化祭、体育祭、教育旅行などの学校行事は、生徒が積極的に参加できるものになっている。	25	16	3	0	45	93.3%	97%	98%	94%	-4%
27	・生徒の健康管理が行き届き、安全な学校生活が送れるよう配慮がなされている。	19	22	2	0	44	95.5%	100%	98%	96%	-5%
28	・学校全体に清掃が行き届いている。	23	20	1	0	45	97.8%	100%	100%	98%	-2%
29	・学校の教室、特別教室、実習室等の施設・設備は、学習環境の面で満足できる。	16	23	0	2	42	95.2%	93%	92%	85%	3%
0							93.1%	93%	93.0%	91.1%	0%

令和5年度 学校教育自己診断

<教職員回答>

大阪府立だいせん聴覚高等支援学校

		A	B	C	D	有効回答数	満足度	R4	R3	R2	R4と比較
1	・学校の教育課題について教職員で日常的によく話し合っている。	18	35	5	0	58	91.4%	88%	87%	80%	4%
2	・日々の教育活動や問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような信頼関係が職場に存在する。	20	31	8	0	59	86.4%	80%	84%	83%	6%
3	・教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	8	30	19	2	59	64.4%	68%	67%	51%	-3%
4	・教育活動や校務分掌等において、P-D-C-Aサイクルが徹底されている。	11	34	11	2	58	77.6%	70%	61%	60%	7%
5	・学校は、生徒の実態や保護者のニーズに応じた教育課程を編成している。	20	33	5	0	58	91.4%	81%	81%	78%	11%
6	・教員は、生徒の実態に応じた分かりやすい授業を目指し、ICT機器（iPad・ディスプレイ・電子黒板等）を活用するなど、教材や指導方法を工夫している。	40	18	0	0	58	100.0%	96%	98%	98%	4%
7	・学校は、生徒の学ぶ意欲の喚起をめざして、授業や学校生活におけるVR/ARの活用方法を研究している。	18	29	10	2	59	79.7%	89%	R4新		-10%
8	・担任は、生徒の実態に応じて個別的教育支援計画（指導目標、指導方法、指導内容、評価等）を作成するにあたり、生徒や保護者にていねいに説明するとともに、意見や要望を聞いている。	28	28	2	0	58	96.6%	95%	98%	97%	2%
9	・教員は、教育活動を行う上で、積極的に個別的教育支援計画を活用している。	13	34	11	0	58	81.0%	76%	69%	64%	5%
10	・学校はカウンセリングマインドを取り入れた生徒（生活）指導を行っている。	25	28	5	0	58	91.4%	95%	87%	82%	-3%
11	・学校は、生徒の問題行動が起きた場合、組織的に対応できる体制が整っている。	26	18	12	3	59	74.6%	78%	81%	63%	-4%
12	・学校の生徒指導（遅刻、服装、頭髪、身だしなみ、手洗い、食事マナー、下校指導等）は、全教職員で適切かつ効果的に取り組んでいる。	14	26	15	3	58	69.0%	67%	73%	61%	2%
13	・学校は生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	32	25	2	0	59	96.6%	95%	95%	95%	2%
14	・学校は、生徒の進路希望の実現のために、各学年に応じた系統的な指導を行っている。	27	22	8	1	58	84.5%	91%	88%	87%	-7%
15	・学校は、適切な勤労観・職業観を育成するために、職場見学や職場実習を積極的に実施している。	38	17	3	0	58	94.8%	96%	95%	97%	-2%
16	・学校は、進路に関する情報（大学、企業等）の収集及び活用において十分な取り組みができている。	31	25	3	0	59	94.9%	86%	93%	93%	9%
17	・担任は、職業適性検査やクレペリン作業検査の結果を生徒や保護者に十分に説明するとともに適切に活用している。	26	26	6	0	58	89.7%	81%	77%	81%	8%
18	・学校は、生徒への適切な職場への定着指導及び、卒業生へのアフターケアを十分に実施している。	37	18	4	0	59	93.2%	91%	88%	92%	2%
19	・学校は、生徒の自己実現に向けて積極的に資格取得にチャレンジするように指導及び支援をしている。	40	16	3	0	59	94.9%	98%	95%	97%	-3%
20	・学校はいじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	24	24	8	3	59	81.4%	80%	87%	88%	1%
21	・学校は教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	23	29	5	1	58	89.7%	79%	80%	88%	11%
22	・学校は学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	22	30	6	0	58	89.7%	93%	85%	95%	-3%
23	・学校は生徒や学校の各種情報を保護者へ発信・周知するように努めている。	36	22	1	0	59	98.3%	95%	90%	93%	4%
24	・学校は教育活動に必要な情報について、地域へ発信・周知するように努めている。	16	36	5	1	58	89.7%	79%	75%	78%	11%
25	・学校は生徒の人権を尊重し、日常的教育活動を行っている。	32	26	1	0	59	98.3%	96%	95%	92%	2%
26	・教員は、聴覚障がいについてよく理解し、生徒一人ひとりの聞こえやコミュニケーション状況に応じた指導を行っている。	27	29	3	0	59	94.9%	95%	87%	85%	0%
27	・学校で地震や火災などの災害が起こった際の危機管理マニュアルを作成し、実効性のある避難訓練を実施している。	28	27	3	1	59	93.2%	89%	90%	88%	4%
28	・学校は、健康管理が行き届き、安全な学校生活が送れるような配慮がなされている。	33	22	3	1	59	93.2%	95%	93%	93%	-2%
29	・学校の施設・設備は、日常的に点検・管理が行われ、常に安全で円滑に利用できる状態にある。	29	24	3	1	57	93.0%	95%	87%	92%	-2%
30	・教員は、部活動を通して生徒の心身の成長を図るために適切な指導及び支援を行っている。	26	27	4	2	59	89.8%	88%	87%	87%	2%
31	・学校は、手話の技量を向上させるための手話講習会が行き届いている。	30	26	2	0	58	96.6%	91%	92%	93%	5%
32	・学校は、授業力の向上のために公開授業や研究授業等に積極的に取り組んでいる。	26	27	4	1	58	91.4%	82%	74%	78%	9%
33	・事案に適切に対応するため、SC、SSW、臨床心理士等外部人材の活用を促進している。	16	30	11	1	58	79.3%	84%	79%	80%	-5%
34	・資質向上のため、他府県を含めた先進校での講演や事例研究への参加を促進している。	14	29	13	2	58	74.1%	77%	66%	57%	-3%
		89.1%						87%	85%	84%	2%